

B Fを原因としたRO膜の閉塞や微生物汚染の拡大を予防することができると。使用方法は、水中の設備の場合は添加、器具や床には洗浄剤との併用や洗浄後のB Fによる再汚染防止を目的としたリンス剤としての使用を推奨している。

また、殺菌剤だけではB Fのバリアに遮断されて十分に殺菌効果が得られない場合でも、本品と殺菌剤を併用することで、殺菌剤を効率的に作用させ得ることも確認している。このほか、口腔内のプラークもバイオフィルムの一種であることから、口腔ケア製品への応用も検討している。

同社は、製紙工場向けにB Fコントロール剤を開発し、空調機の内部や医療器具の洗浄など幅広い用途に提案を進めてきた。このほど食品添加物組成の新製品を開発し、さらなる普及を図っていく。なお、食品分野向けの製品は2種。食品添加物組成の「BR-201」と、FDAの食品添加物ポジティブリスト収載の食品添加物からなる、界面活性剤を配合しており、洗浄作用を示す「同-202」を展開している。

## バイオフィルム形成を抑制

### 設備のぬめりや汚染対策に 星光PMC

製紙用薬品の国内トップシェアを誇る星光PM C（東京都中央区、菅正道社長）は、食品添加物組成のバイオフィルムコントロール剤を上市した。本品は独自の作用メカニズムにより、バイオフィルムの形成を阻害する非殺菌性の製剤だ。水回りのぬめりや、微生物汚染対策に有効だとし、食品工場向けに提案を進めていく。

新製品は、バイオフィルム（以下、B F）の形成を促す細菌同士のシグナル伝達を阻害することで、B Fの形成を抑制する。定着したB Fは除去することが困難で、一般的に有効とされるアルカリ洗浄剤を使用した場合

でも、除去が不十分な場合が多い。また、B Fがカビの足場となり汚染拡大の要因ともなるため、

重要な課題とされている。

本品を使用することで、設備や床のぬめり、